

平成27年3月11日

東京電力株式会社

代表執行役社長 廣瀬直己様

要 請 書

【 汚染水流出対策の徹底について 】

福島県町村会
会長 大塚節雄

汚染水流出対策の徹底に関する要請書

福島第一原子力発電所構内の排水路から高濃度の放射性物質を含む雨水が湾外へ流出していた事実が判明し、しかも、その事実を昨年4月には把握していながら、公表していなかったことは、福島第一原子力発電所の廃炉作業に対する県民の信頼を裏切る行為であり、極めて遺憾である。

汚染水対策をはじめとする福島第一原子力発電所の廃炉作業の安全確保は、本県復興の大前提であり、我々は、再三にわたり安全の確保を要請してきたが、いまだに汚染水流出が起きること、そして、その事実をすぐに公表しない体質に失望の念を感じずにはいられない。

特に、隠ぺいとも取られかねない公表の遅れは、帰還の判断に悩む避難者に及ぼす影響は大きく、また、これまで積み重ねてきた本県に対する根強い風評の払拭に向けた努力を無にしかねない事態である。

よって、今回の事態の重大さを強く認識し、廃炉作業に対する信頼回復のため、速やかな原因究明と再発防止策を講じるとともに、情報公開を徹底されるよう強く要請する。